

白杵市 施策評価シート

(令和5年度)

評価 担当課	課名
福祉課	

コード	I-4-9	施策名	生活の安定と自立への支援
まちづくりの 目標	生活の土台を築き、笑顔あふれる市民が暮らすまち(健康福祉)		施策の方針 自分らしい笑顔輝く人生の自立を支える
5年後の めざす姿	さまざまな要因で生活困窮に陥り、地域での生活が困難になった人が、自身の力で自立した生活を送れる支援体制の充実を図ります。生活保護受給者の自立をめざします。認知症や知的障がい・精神障がいなどの理由で、財産の管理や日常生活等に支障のある人に対し、成年後見制度を活用し権利擁護を図ります。		
施策の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな要因で生活困窮に陥り生活が困難になった人が社会福祉協議会の生活困窮等の相談に繋がりにやすくする仕組みづくりの強化。</li> <li>生活保護受給者の中でも就労が可能な状態の人が自立に向けて就労に取り組むことに対する支援の強化。</li> <li>認知症や障がい等の理由で判断能力が衰えて支援が必要になった人が、白杵市市民後見センターに繋がれるようにする広報やネットワークの取り組み強化。</li> </ul>		

<施策の進捗を測るものさし(指標) ~ 第2次白杵市総合計画 後期基本計画>

新規 指標	指標名	指標の説明	指標数値の推移						
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	生活保護受給者への就労支援者数	1年間に就労支援を行った生活保護受給者数(継続含む)	目標	人	20	21	22	23	24
			実績	19	21	14	19	16	
			達成率	%	105.0%	66.7%	86.4%	69.6%	
	生活困窮者自立支援ケース数	生活困窮者自立支援ケースとして認定し支援プランを作成した人数	目標	人	32	35	38	41	44
			実績	29	31	26	30	37	
			達成率	%	96.9%	74.3%	78.9%	90.2%	
	白杵市市民後見センター受任者数【累計】	白杵市市民後見センターが受任した人数	目標	人	40	42	44	58	62
			実績	39	48	50	54	61	
			達成率	%	120.0%	119.0%	122.7%	105.2%	
			目標						
			実績						
			達成率	%					
			目標						
			実績						
			達成率	%					
			目標						
			実績						
			達成率	%					
			目標						
			実績						
			達成率	%					
指標の 進捗状況	概ね順調	指標の分析	生活保護受給者への就労支援者数は、生活保護受給者の66.9%が高齢者世帯、障害者世帯が10.2%、傷病世帯が11.5%で占めるため稼働世帯が少ないことによるものと推測されます。生活困窮者自立支援ケース数は、相談件数は多い状況で推移していますが、本人同意が得られないとプラン化できないため未達成が続いています。白杵市市民後見センター受任者数は令和2年度から達成が続いています。						
		指標達成に向け今後の流れ	生活保護受給者への就労支援者数と生活困窮者自立支援ケース数について、生活保護受給者は高齢者が多いため今後も達成は難しい見込みです。生活困窮者自立支援ケース数は、相談件数は、本人同意が得られないとプラン化できないため達成は見通せない状況です。同意ができないと介入はできない状況です。						

<市民意識調査結果 R6実施結果>

領域名	必要度	満足度	浸透度
強化領域	2.56	1.99	80.00%
向上領域: 今後も現状のサービス水準の維持向上が望まれる領域 強化領域: 満足度を高めるよう事業の強化が望まれる領域 見直し領域: サービス水準が適正となっているか、見直しが必要な領域 検討領域: 施策や事業のあり方や内容の検討が必要な領域			
過去の 調査結果 (領域)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	検討領域	強化領域	検討領域

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課	事業費(単位:千円) ※人件費含まない		評価シート作成の有無	課長評価			重点事項
			R4年度実績	R5年度実績		進捗状況	今後の方針	施策への貢献度	
1	生活困窮者自立支援事業	福祉課	28,460	24,723	有	概ね順調	強化	大	
2	市民後見センター委託料	福祉課	21,215	21,215	有	概ね順調	強化	大	
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計			49,675	45,938					

※事務事業評価シートは対象となる要件を満たした事業のみ作成しています。

<次年度以降の課題>

・さまざまな要因で生活困窮に陥り生活が困難になった人のための生活保護や生活困窮の事業ですが、その取り組み内容は多岐に渡り、すぐに解決できない課題も多く抱えているため、今後も本人に寄り添った伴走支援を継続する必要があります。そのような中でも、就労等により自立した生活を目指せる人(世帯)に対しては、引き続き取り組みを強化していきます。令和6年度に取り組み開始する「重層的支援体制整備事業」を実施するため、これまで以上に関係機関との連携が必要になります。  
 ・成年後見制度の体制づくりはできていますので、制度が必要になった人がすぐに繋がれるように広報や関係機関とのネットワークの強化を進めていきます。

施策の評価 (今後の施策の方向性)

- 評価の選択肢 ○ 向上 … 現状の通り維持向上する ○ 強化… 現状より強化を図る  
 ○ 見直し … 現状を見直し適正化を図る ○ 検討… 現状の抜本的な検討を行う

<担当課評価>…評価者 担当所属長

担当課評価	評価の理由と次年度以降の取組
強化	福祉の課題については年々複雑化・多様化しており、これまで以上に関係機関同士の連携が必要となる。令和6年度に取り組み開始する「重層的支援体制整備事業」を活かし、関係機関との連携を深め、漏れの無い支援につなげていきたい。